

た ま り う ほ い

多摩響杯

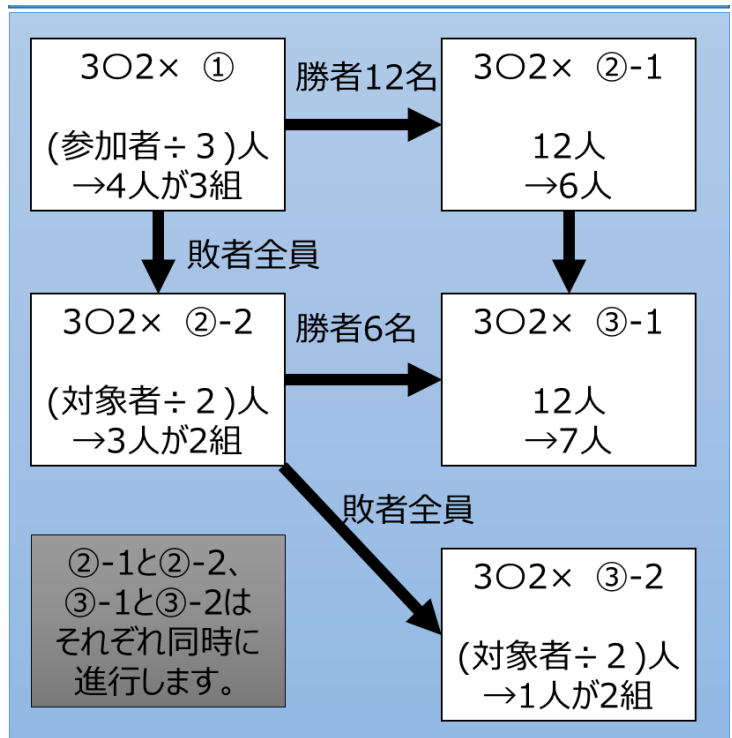
— A Q L 東京西部リーグ個人戦 —

平成 31 年 1 月 5 日 (土)

於：たましん RISURU ホール

予選 3〇2× (all→15 人)

- 3 セット制の 3〇2×。
- 1 セット目は参加者を事前の抽選により 3 部屋に分ける。セットの結果に応じて部屋の移動を行う。部屋の移動の仕方は後述の【部屋移動イメージ】のとおり。
- 最終順位は「②-1 勝者」→「③-1 勝者」→「③-2 勝者」→「抜け上位」で決定。
- 問題数限定は各セット 50 問。2×すると失格し当該セットでその時点での最下位となる。
- 各部屋での順位は「勝抜けの早さ」→「当該ラウンドの (〇-x) の多さ」→「近似値順」とし、その順に部屋移動イメージのとおり移動。

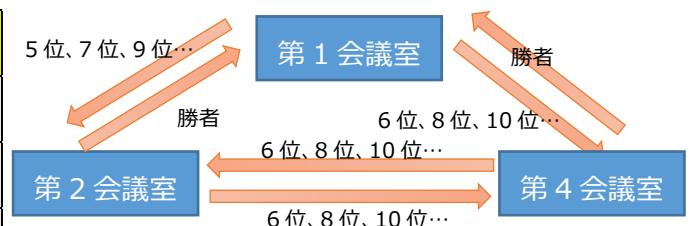


【移動先早見表】

部屋	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
第1会議室					2	4	2	4	2	4	2	4
第2会議室	第1会議室or勝抜け				2	4	2	4	2	4	2	4
第4会議室					4	2	4	2	4	2	4	2

※2 試合目は 5 位・6 位も第 1 会議室に行く。

【部屋移動イメージ】



※第 2 会議室、第 4 会議室の 5 位、7 位、9 位…は部屋待機

※2 試合目の第 1 会議室の敗者は部屋に残る

準々決勝 703× (5人→2人×3)

- 40問限定の703×クイズ。予選成績をもとに、蛇腹で3組に分ける。先に70した2名が勝ち抜け。
- 各組上位1位と2位に10のアドバンテージをつける。
- 問題限定終了時は「○の多さ」→「×の少なさ」→「101×プレーオフ」で決定する。

準決勝 4 GATE (6人→3人)

○ 「準々決勝1セット目1抜け」→「準々決勝2セット目1抜け」→「準々決勝3セット目1抜け」の順に指定。ただし、「同じルールは重複して選択できず」、「早押しボードが最後まで残っていた場合、選択しなければならない」

1. 早押しボードクイズ

- ・20問限定、押して正解+3、押して誤答-3、ボード正解+1、ボード誤答0、20p先取、2×早押し権はく奪
- ・問題限定到達時は「ポイントの多さ」→「同様のルールで差がつくまでサドンデス」

2. 505×

- ・50問限定、問題限定到達時は「(○-×)の多さ」→「101×サドンデス」

3. 5updown

- ・50問限定、2×失格。問題限定到達時は「○の多さ」→「101×サドンデス」

4. マンオブ風通過

- ・50問限定。一般席での正解+1ポイント、2ポイントで通過席に立つ。通過席で正解したら勝ち抜け。通過席での誤答か、阻止権のある回答者の正解で1ポイントとなり一般席に戻る。阻止権が与えられるのは、1ポイントを持っている者のみ。0ポイントの者が正解しても通過阻止にはならない。誤答は3回で失格。

決勝 1004× (4人→優勝)

- 40問限定の早押しクイズ。

正誤判定について

【全体ルール】ボタンが押されてからのシンキングタイムは5カウント。問題が読み切られてからの待ち時間は3カウント。待ち時間一杯の直前でボタンが押されても、ブザーのボタンでキャンセルされた場合、スルー扱いとする。回答がタイムアップのブザーと重なった場合、不正解とする。回答が聞こえなかった場合、正誤判定者は「聞こえませんでした」と言って回答者の再回答を求める。この場合、回答者は最初に言った答えをそのまま答えなくてはいけない。回答が「正解に限りなく近いが、そのままでは正解にならない」と正誤判定者が判断した場合、正誤判定者は「もう1回」と言って、回答者の再回答を求める。(この時、回答者は最初に言った答えをそのまま言わず、別の答えを答える)。この回答が用意している正解と異なる場合は不正解とする。

【人名について】人名は原則として、芸名・ペンネーム・登録名など最も一般的に知られている名前、及びそれに準ずる知名度のもののみを正解とし、本名や別号など「知名度が低い」と正誤判定者が判断した回答は「もう1回」の対象とする。東洋人名(主に氏名表記に漢字が用いられる国)は、フルネームでの回答に限り正解とする。ただし、東洋人名でも、通称が固有名詞化した場合や、四股名はこの限りではない。西洋人名は、原則ファミリーネームのみで正解とする。ただし、明らかにフルネームを要求される問題の場合は例外とする。以上の人名に関するルールは、実在しないキャラクター等にも適用する。

【複数回答について】複数のものから一つを答える問題の場合、問題文のままの順序で全てを答えた場合は正解とするが、それ以外の場合、全てを回答するのは不正解とする。例：「天文単位とは、太陽とどここの間の距離でしょう？」Ans.地球→「地球」「太陽と地球」は正解、「地球と太陽」は不正解とする。(「～、どここの間の距離でしょう？」)たまた場合は「太陽と地球」「地球と太陽」が正解、「地球」「太陽」のみはカウントを継続)都道府県名と都市名の両方を答えた場合、原則都市名の方を答えたものとみなす。例：「甲子園球場があるのは、何県でしょう？」Ans.兵庫県→「兵庫県」のみ正解、「兵庫県西宮市」「西宮市」は不正解。

【文章での回答について】歌詞や文章の一部を問う問題で、問われているもの以上を回答した場合は、たとえ歌詞・文章通りでも「もう1回」の対象とすることがある。その場合、回答者はより絞った回答をしなくてはならない。ただし、ことわざや慣用句など、全体で1つのイディオムとして認知されている言葉の場合この限りではない。ことわざや慣用句のすべてを答えた際、問われているものは正解だが、問題文と一部が異なっていた場合は「もう1回」の対象とすることがある。その場合、回答者は問われているもののみか、問題文通りのことわざや慣用句で答え直さなくてはならない。